

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2025年1月～3月期 NO. 78

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

【概況】 2025年1月～3月期の業況は4.2、前期比 3.8ポイントマイナスと前期を下回りました。
来期は姫路地域では厳しさを強め、神戸地域では前期を上回る見通しです。

景気動向調査主要指数D.I (総合)

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2024年10月 ～12月期	2025年1月 ～3月期	2025年4月 ～6月期予想	2024年10月 ～12月期	2025年1月 ～3月期	2025年4月 ～6月期予想	2024年10月 ～12月期	2025年1月 ～3月期	2025年4月 ～6月期予想
業況	8.0	4.2	3.0	7.8	3.1	▲ 1.2	8.3	5.4	8.0
売上額	11.9	9.0	8.7	12.1	8.3	7.4	11.6	9.8	10.1
収益	6.2	3.0	2.8	5.3	3.1	1.9	7.2	2.9	4.0
販売価格	21.7	24.4	22.3	25.1	21.4	17.7	17.8	27.9	27.6
仕入価格	39.5	41.4	34.8	46.1	43.8	35.6	31.6	38.5	33.8
在庫	0.0	▲ 0.9	▲ 3.8	1.2	▲ 0.8	▲ 3.2	▲ 1.5	▲ 1.0	▲ 4.6
資金繰り	▲ 1.5	▲ 2.0	13.2	▲ 2.2	▲ 4.6	14.2	▲ 0.7	1.1	12.0
人手	▲ 22.7	▲ 23.5	▲ 24.8	▲ 28.4	▲ 28.3	▲ 30.2	▲ 16.0	▲ 17.8	▲ 18.5
設備状況	▲ 8.7	▲ 8.1	▲ 8.4	▲ 8.2	▲ 9.4	▲ 9.8	▲ 9.5	▲ 6.3	▲ 6.3

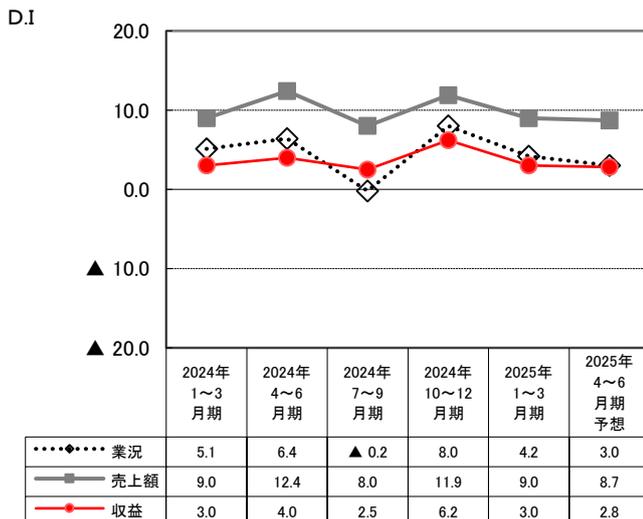
2025年1月～3月期実績

《 不動産業で上向く 》
当期の全地域の全業況D.Iは4.2、前期比3.8ポイントマイナスと前期を下回りました。
全地域の業種別では不動産業において上向きました。

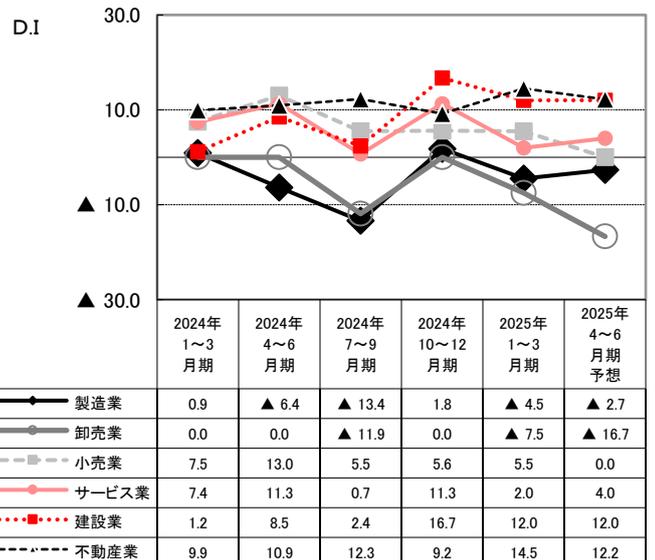
2025年4月～6月期見通し

《 姫路地域では厳しさを強め、神戸地域では前期を上回る見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは3.0、当期比1.2ポイントマイナスとさらに好調感が後退する見通しです。全地域の業種別では、製造業、サービス業において上向く見通しです。地域別では、姫路地域では厳しさを強め、神戸地域では前期を上回る見通しです。

全地域D.I(総合)



業種別業況D.I



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2025年3月上旬

3. 調査対象期間

2025年1月～3月期実績（2024年10月～12月期実績との比較）

2025年4月～6月期予想（2025年1月～3月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

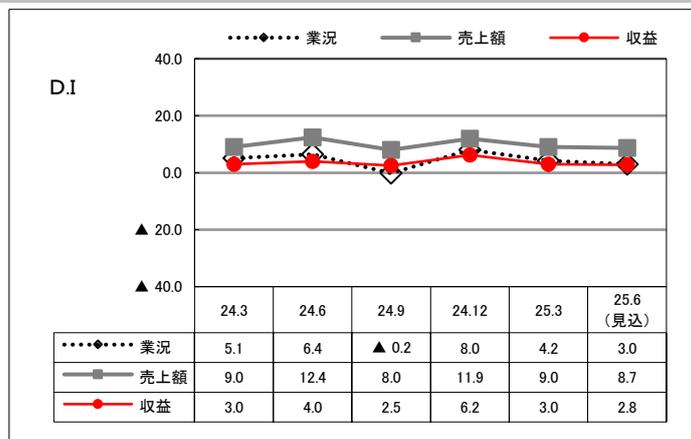
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	112	100.0%
卸売業	67	67	100.0%
小売業	55	55	100.0%
サービス業	151	151	100.0%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	600	100.0%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは4.2、前期比3.8ポイントマイナス（前年同期比 ▲0.9）と前期を下回りました。業種別では、不動産業において上向きしました。

来期予想D.Iは3.0、当期比1.2ポイントマイナスとさらに好調感が後退する見通しです。業種別では、製造業、サービス業において上向き見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは9.0、前期比2.9ポイントマイナス（前年同期比 0.0）と増加幅が縮小しました。業種別では、不動産業において上向きしました。

来期予想D.Iは8.7、当期比0.3ポイントマイナスとさらに増加幅が縮小する見通しです。業種別では、サービス業、建設業以外の業種において上向き見通しです。

3. 収益

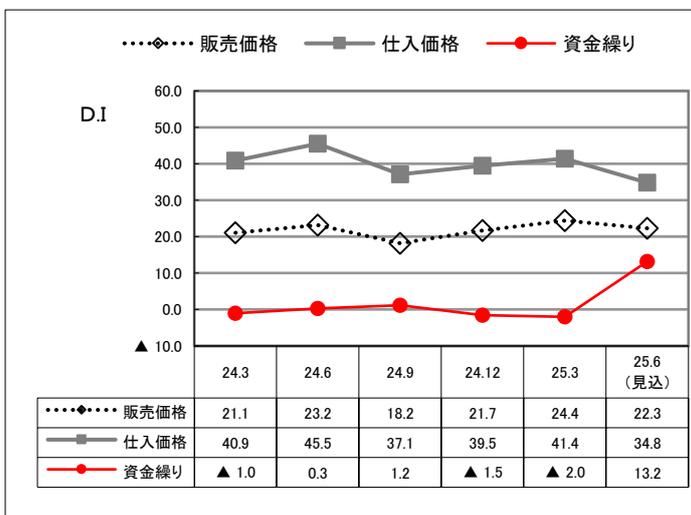
全業種における収益D.Iは3.0、前期比3.2ポイントマイナス（前年同期比 0.0）と増加幅が縮小しました。業種別では、小売業、不動産業において改善しました。

来期予想D.Iは2.8、当期比0.2ポイントマイナスとさらに増加幅が縮小する見通しです。業種別では、製造業、サービス業以外の業種において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは▲2.0、前期比0.5ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.0）と厳しさが増しました。業種別では、建設業、不動産業において和らぎました。

来期予想D.Iは13.2、当期比15.2ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、卸売業以外の業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは24.4、前期比2.7ポイントプラス（前年同期比+3.3）と上昇幅が拡大しました。業種別では、小売業、サービス業、不動産業において上昇しました。

来期予想D.Iは22.3、当期比2.1ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、建設業において上昇する見通しです。

6. 仕入価格

全業種における仕入価格D.Iは41.4、前期比1.9ポイントプラス（前年同期比+0.5）と上昇幅が拡大しました。業種別では、製造業、卸売業において低下しました。

来期予想D.Iは34.8、当期比6.6ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲0.9、前期比0.9ポイントマイナス（前年同期比 ▲0.7）と品薄へと転じました。業種別では、製造業、卸売業において過剰感が強まりました。

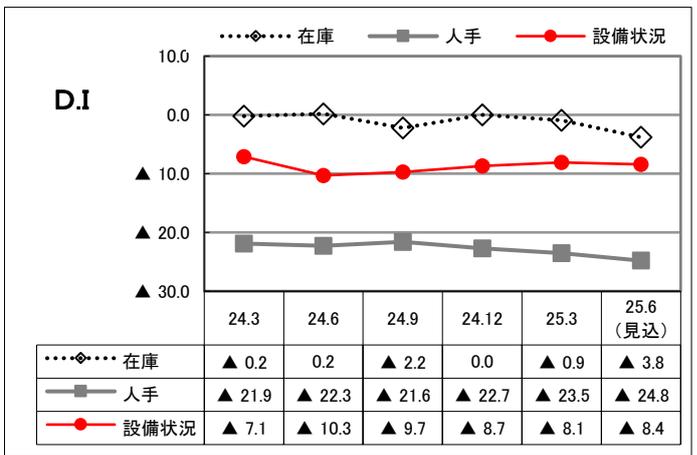
来期予想D.Iは▲3.8、当期比2.9ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、建設業において品薄感が改善する見通しです。

8. 人手

全業種における人手D.Iは▲23.5、前期比0.8ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.6）と不足感が強まりました。業種別では、卸売業、建設業、不動産業において不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲24.8、当期比1.3ポイントマイナスとさらに不足感が強まる見通しです。業種別では、建設業と不動産業において横ばいとなりました。

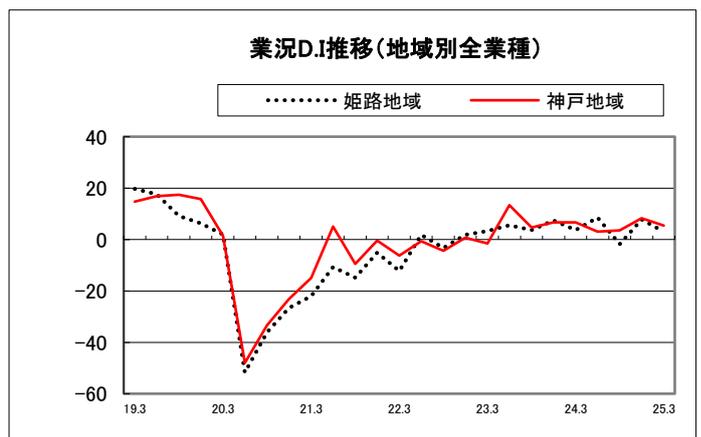
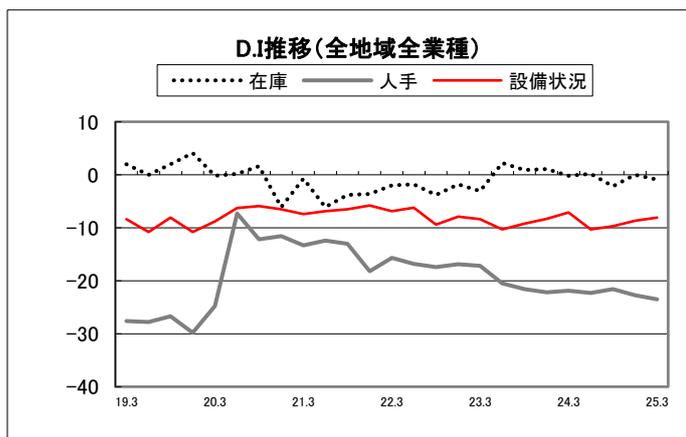
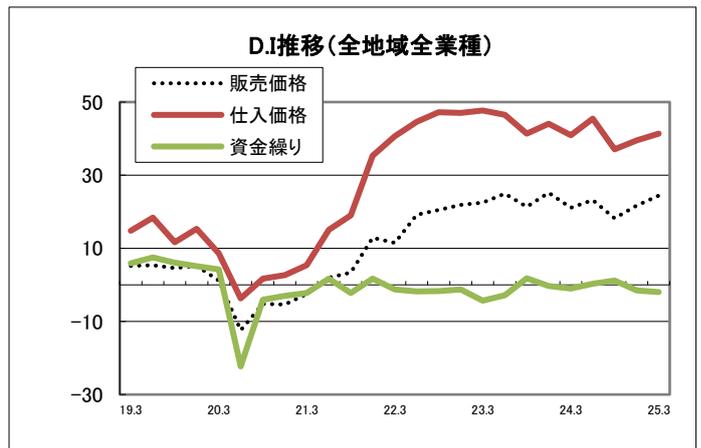
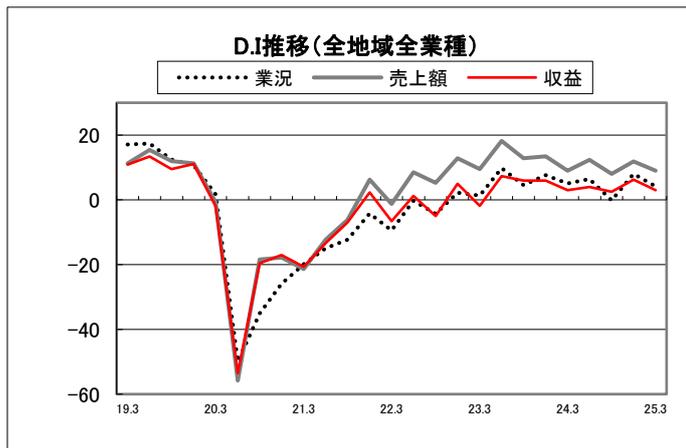
過去D.I推移



9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲8.1、前期比0.6ポイントプラス（前年同期比 ▲1.0）と改善しました。また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は28.0%、前期比▲1.8ポイントマイナス（前年同期比 ▲2.3）と減少しました。また業種別では、小売業、サービス業において設備投資を行った企業の割合が増加しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は30.7%、当期比増加2.7ポイントプラスと増加する見通しです。



1. 業況

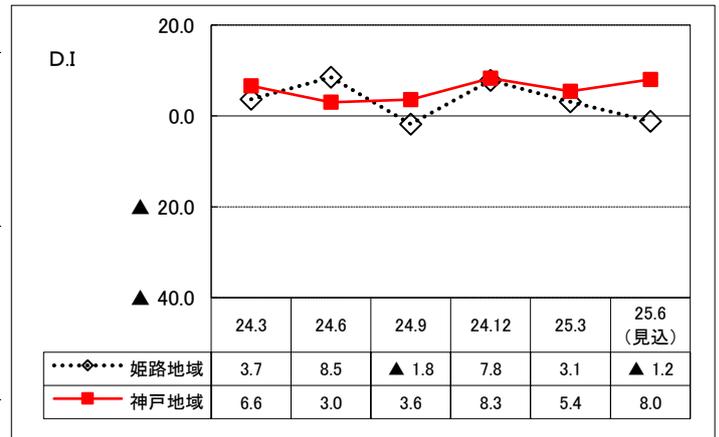
姫路地域の業況D. Iは3.1、前期比4.7ポイントマイナス（前年同期比 ▲0.6）と前期を下回りました。

来期予想D. Iは▲1.2、当期比4.3ポイントマイナスと厳しさを強める見通しです。

神戸地域の業況D. Iは5.4、前期比2.9ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.2）と前期を下回りました。

来期予想D. Iは8.0、当期比2.6ポイントプラスと回復に向かう見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも前期を下回りました。



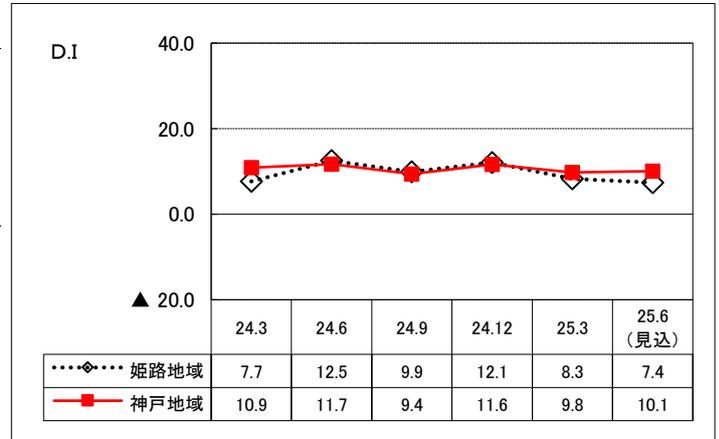
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは8.3、前期比3.8ポイントマイナス（前年同期比 +0.6）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは7.4、当期比0.9ポイントマイナスとさらに増加幅が縮小する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは9.8、前期比1.8ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.1）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは10.1、当期比0.3ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。



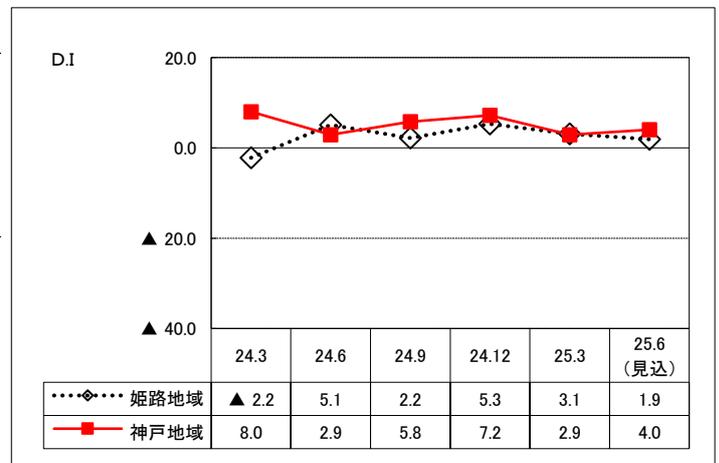
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは3.1、前期比2.2ポイントマイナス（前年同期比 +5.3）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは1.9、当期比1.2ポイントマイナスとさらに増加幅が縮小する見通しです。

神戸地域の収益D. Iは2.9、前期比4.3ポイントマイナス（前年同期比 ▲5.1）と増加幅が縮小しました。

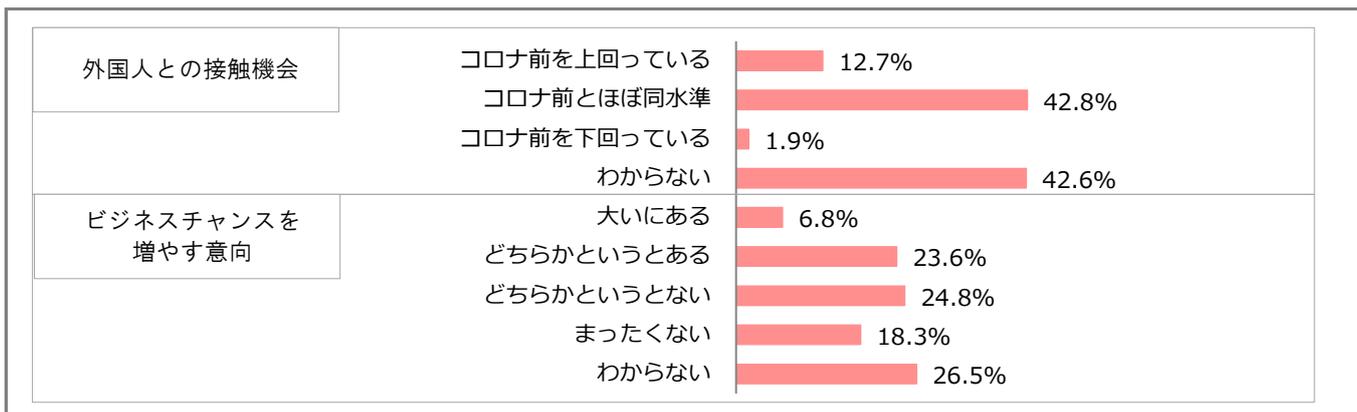
来期予想D. Iは4.0、当期比1.1ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。



外国人・海外情勢と中小企業

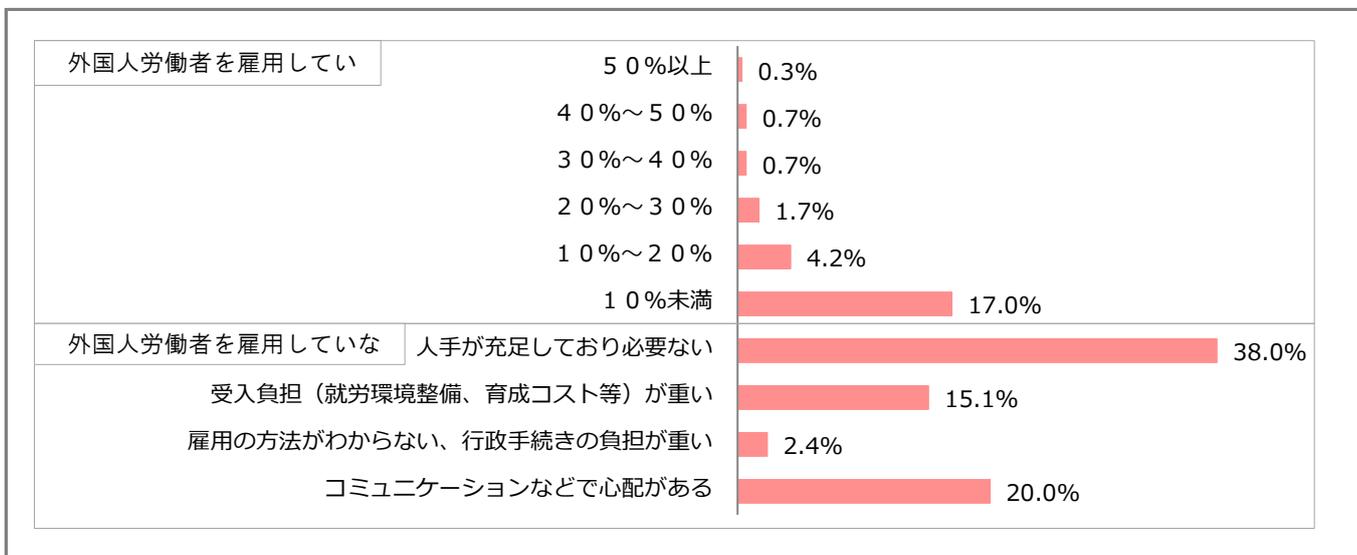
回答により合計が100%とまらない場合があります。

問1 昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。あてはまるものを1から4の中から1つ選んでお答えください。また、外国とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。5から9の中から1つ選んでお答えください。



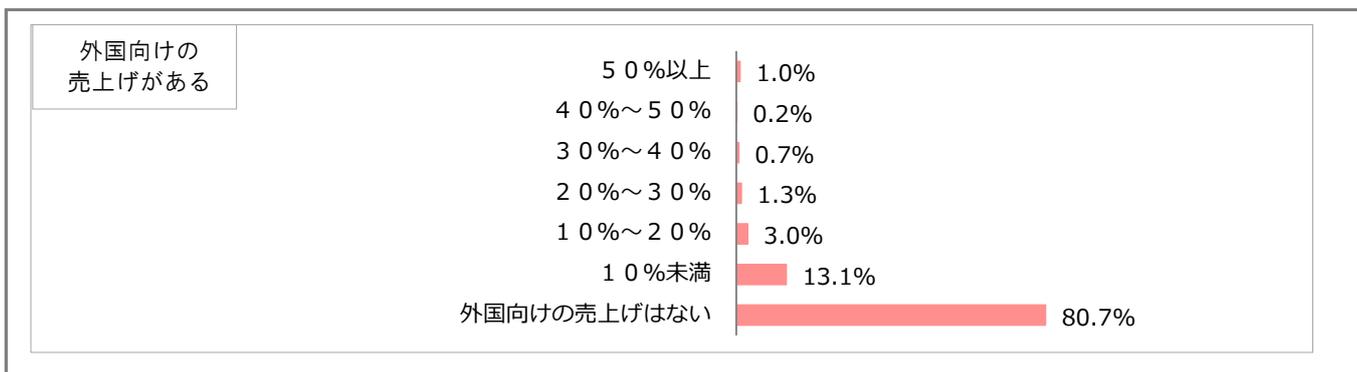
外国人との接触機会について「コロナ前とほぼ同水準」が最多回答、ビジネスチャンスを増やす意向については「わからない」が最多回答でした。

問2 貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合を1から6の中から1つ選んでお答えください。また、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由を7から0の中から1つ選んでお答えください。



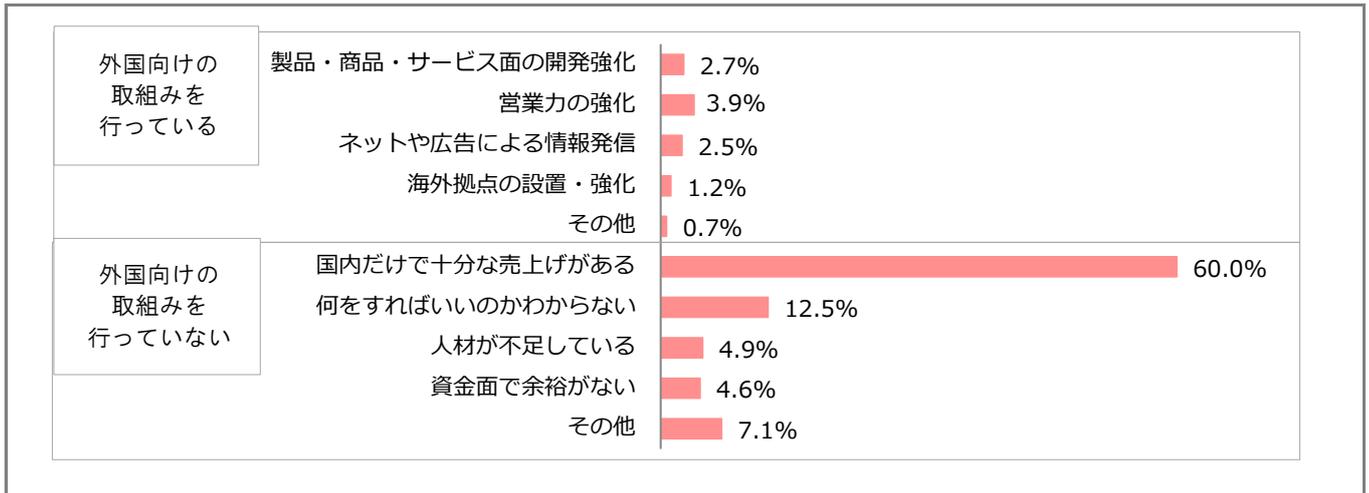
外国人労働者を雇用している割合について「10%未満」が最多回答、外国人労働者を雇用していない理由については「人手が充足しており必要ない」が最多回答でした。

問3 貴社では、売上全体に占める外国人（旅行者を含む）、もしくは外国企業向けの売上げ（輸出を含む）はどれくらいですか。あてはまるものを1から6の中から1つ選んでお答えください。売上がない場合は7を選択ください。



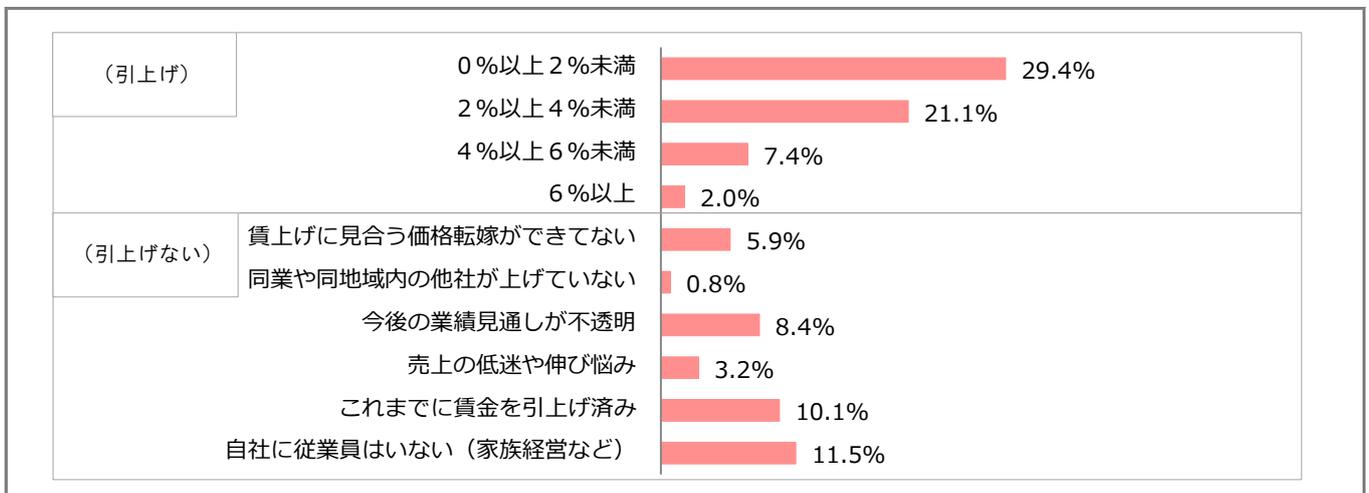
外国向けの売上げがどれくらいかについて「外国向けの売上げはない」が最多回答でした。

問4 貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて1から5の中から1つ選んでお答えください。行っていない企業は、行っていない理由について6から0の中から1つ選んでお答えください。



外国向けの取組みを行っている理由について「営業力の強化」が最多回答、外国向けの取組みを行っていない理由について「国内だけで十分な売上げがある」が最多回答でした。

問5 貴社では、人材定着などに向けて、2025年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む）しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1から4の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合は引上げなかった理由について5から0の中から1つ選んでお答えください。



賃金の引上げ率について「0%以上2%未満」が最多回答、賃金を引上げない理由について「自社に従業員はいない（家族経営など）」が最多回答でした。